

科 目 名	公衆衛生学【理学・作業】					開 講 キャンパス	神 埼
担 当 者	井 上 俊 孝						
開 講 年 次	1	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	必 修
授業の概要 及びねらい	現代の医療や介護を取り巻く環境について、テキストを中心にビデオや写真等を用いながら現状等を考察していく。						
授 業 の 到 達 目 標	少子高齢者社会を迎えた我が国の現状をもとに以下のことを中心に公衆衛生全般を理解する。 1. 医療や福祉その他の制度や組織について理解する。 2. 疾病の特性について理解する。 3. 健康にかかわる現代の課題を理解する。						
学 習 方 法	講義						
テキスト及 び参考書等	シンプル衛生公衆衛生学2014（南江堂）／国民衛生の動向・厚生指標 財団法人厚生統計協会						
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	◎	○					50
小テスト等	◎	○					20
宿題・授業外レポート	○	○		○			15
授業態度			○				5
受講者の発表			○				5
授業への参加度			○				5
その他							
合 計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	オリエンテーション						
第 2 週	公衆衛生学序論						
第 3 週	公衆衛生学の理念						
第 4 週	疫学						
第 5 週	疾病の予防と健康管理 1						
第 6 週	疾病の予防と健康管理 2						
第 7 週	医療制度 1						
第 8 週	医療制度 2						
第 9 週	環境保健						
第 10 週	学校保健・母子保健						
第 11 週	産業保健						
第 12 週	老人保健・障害者保健						
第 13 週	個人情報保護						
第 14 週	がんの疫学						
第 15 週	まとめ						
第 16 週	試験						
備 考	授業外学習（事前学習・事後学習）をおこなうこと						